

## 「キャンパス整備計画第2期工事竣工式」

3月30日短大キャンパス整備計画第2期工事竣工式が執り行われました。今回完成した棟は旧2号館跡に建てられたものであり、外観カラーは以前と同じブラウン系ですが、壁材は以前に比べて耐久性に優れた物を使用されています。また、エコの観点から外光を広く取り込むガラス張り部分を多く採用していますが、当然現在の耐震基準に適合した建築となっています。

内部は当短大の教育方針を考慮し、学生たちが自ら学ぶ内容を探求する(ラーニングコモンズ)エリアを多く設け、様々な場所でディスカッションが可能になっています。そしてそれらの中心に教室(講義室)は配置されています。

学園本部と短大の事務局もこの棟の1階に移転していて、訪れる人が解りやすく明るく親しみやすいようにガラス張りになっています。この学園の中心となる棟の完成によって、新しいパワーが備わったような感じがします。



## 「ぼるとこども園 開園」3月19日



3月19日(日)予てより施工されていた湊川短期大学附属小規模保育施設「ぼるとこども園」の開園式典がすずかけ台2のえるむプラザ2階で行われました。

三田市、市議会、地域関係者のご来賓と理事長はじめ園関係者が出席し、木の香りが残る真新しい内部を見学しました。0歳~2歳児対象施設で3歳になれば連携する認定こども園で受け入れることも決まっています。さらに、たいせつな食事もアレルギー対応メニューを認定こども園で調理します。

これも湊川相野学園のスケールメリットとしての安心です。地域の待機児童を少しでも減らすため、約90平方メートルの空間は~温かな場所~としてこれから多くの子どもたちを安心して預けられるこども園になることでしょう。



## 三田松聖高校「第67回・入学式」4月8日

4月8日(土)、平成29年度入学式が行われました。真新しい制服に身を包んだ394名の入学生を前に、則木校長は、学園が2年後に100周年を迎えること、そしてその長い歴史の中で、水害・火災・震災など幾多の試練を乗り越えてきたことを語り、「不撓不屈の精神」を根幹とする教育方針を説明しました。また「自覚と覚悟、義務と責任を十分に理解し、三田松聖高校の生徒として自信と誇りを持って生活して下さい。」と訴えました。

それを受けて、入学生代表の石原翔吾君が「本校生としてふさわしい行動をとり、勉強にクラブ活動に一生懸命努力すること」を誓いました。

浅井祐子学園長は、古林美代子前学園長の「そよげ若竹いまのうち」の言葉を祝辞として贈り、井上浩一後援会会長は「人を好きになる」ことの大切さを述べられました。

新入生の皆さんには、この恵まれた自然環境、学習環境の中で、人生の基盤となる高校生活3年間を有意義に過ごして欲しいものです。



## 山田哲也教授「功労者表彰」

人間生活学科 山田哲也教授が一般社団法人大阪発明協会創立110周年式典において、多くの小・中学校などへの児童生徒や教員への科学教育指導が評価され、功労者表彰を受けました(2017年2月7日)。発明協会は経済産業省・特許庁など国の事業を受け、知的創造力を駆使して問題解決を行える次世代の人材育成に力を入れてきました。山田先生の受賞は、科学教育の分野で青少年の創造性教育に多大な功績が高く評価されたものです。

